こおりやま農福連携協議会
農福セミナー&ワークショップ連携

最新の対話のスキルによる農福連携を進める極意

～第３回実践編を公開で開催します～

気楽に！ 楽しく！ 中身濃く！



対話・会議の専門家として行政・企業・NPOなどで約1000回の研修実績を持つ。
その研修は明るく楽しく、参加者を決して飽きさせないと全国で大評判。

講師　釘山 健一 氏
一般社団法人
会議ファシリテーター普及協会 代表

日時
11/19（木）
13:00-16:30


前回の様子

会場
郡山市
総合福祉センター３F
（郡山市朝日一丁目２９番９号）

募集人数 30名
参加費無料

農福連携の“連携”を進めるうえで、大切なことは「対話」です。
農業と福祉だけでなく、企業、行政、地域など、さまざまな人や組織がつながるためには、対話が欠かせません。
郡山市では前回、「理論編」「体験編」を通して対話のスキルを学びました。
こうした取り組みは、全国的に見ても先進的なものです。
今回は「理論編」「体験編」に加え、さらに「実践編」を行います。
3つのステップを通して、対話を実践する力を身につけ、新しい連携や可能性を生み出していきます。
農福連携に関わる方はもちろん、地域で新しいつながりをつくりたい方にも、ぜひ参加していただきたいと思います。

（※本来は1回目2回目の研修を体験した人向けの研修ですが、”気楽に!楽しく!中身濃くの研修”を、より多くの人に体験して頂きたいと思い、公開で開催することにしました。）







お申し込み・お問い合わせ先　**こおりやま農福連携協議会事務局**
事務局:認定NPO法人キャリア・デザイナーズ(担当:鈴木)
郡山市昭和二丁目2−7さとうビル2F
TEL 024-973-5667 FAX 024-973-6116
E-mail koriyamanoufuku@npocd.jp
URL https://noufuku.npocd.jp/

▲WebSite

▲QRコードから参加申し込みができます

メールやFAXでもお申込みいただけます
詳細や申し込み方法等、裏面もご覧ください

本事業は、農林水産省の令和8年度農山漁村振興交付金を活用して実施します。
後援:郡山市

農福連携とは

農福連携とは、農業と福祉が連携し、障がいを持つ人など多様な人々が農業や関連活動で活躍することで、自信や生きがいを持って社会参加できる取り組みです。農業では働き手不足や荒廃農地、福祉では障がい者らの働く場の確保や賃金・工賃向上が課題となっています。農福連携を通じて、多様な人が力や可能性を最大限発揮できる地域共生社会の実現に貢献します。

こおりやま農福連携協議会のご紹介

こおりやま農福連携協議会は、農業や福祉など地域の多様な団体や個人の連携を促進し、障がい者や就労困難者などが農林水産業で能力を発揮できる環境を創出することを目的としています。これにより、生きがいややりがいを提供するとともに、農林水産業の発展や地域活性化、持続可能な社会の構築に寄与します。こおりやま農福連携協議会は、情報共有、研修・人材育成、ネットワーク構築などの活動を通じて、地域での農福連携の推進と拡大を図ります。









https://noufuku.npocd.jp/

農業と福祉の連携を通じて
障がい者らの活躍の場を広げます

おもしろいを探る、未来を創造するための研修＆対話サロン

単なる座学でないのは当たり前、その上ありきたりなセミナーやワークショップでもない
今回は研修＆対話サロンを計3回にわたり展開してまいります。農福連携だからできる
農業系と福祉系の皆様の対話を交え、拡がる郡山市の未来を共に描いてまいりましょう。

11月19日（木）13:00～16:30　郡山市総合福祉センター



【駐車場】
お車でお越しの方は 郡山市役所駐車場をご利用ください
（料金：2時間まで無料、以降30分ごとに100円）

本来は１回目２回目の研修を体験した人向けの研修ですが "気楽に!楽しく!中身濃くの研修"をより多くの人に体験して頂きたいと思い公開で開催することにしました

FAX返信先 024-973-6116 ／ E-mail返信先 koriyamanoufuku@npocd.jp

▼申し込みについては記入の上FAX(キリトリ不要)か、内容をE-mailで返信してください▼

氏名			▲QRコードからも申し込みできます
所属			
ご連絡先			
電話		FAX	
E-mail			

※お預かりした個人情報は、本セミナー＆ワークショップ開催における利用目的の範囲内でのみ取り扱います